

識別番号・報告回数	B-07001257	第2報	関連報告番号	2007年04月02日	重篤	医学的確認	死亡日	機構処理欄
最新情報入手日	2007年07月20日	第一報入手日	2007年04月02日	死に至るもの 生命を脅かすもの 入院又は入院期間の延長が 必要なもの	報告された死因 (死亡の場合)			
副作用	15日	身長	原疾患・合併症・ 既往歴	◎				
発現国(情報源)	日本(日本)	体重	インフルエンザ 喘息	永続的又は顕著な障害・ 機能不全に随うもの 先天異常を来すもの その他の医学的に重要な状態				
患者略名	H.I.	性別						
年齢	13歳	曝露時の妊娠期間						新医薬品等の区分 市販後調査中

医薬品情報

販売名	一般名	被疑薬	経路	剤型	投与量	投与期間	医薬品使用理由
リレンザ	ザナミビル水和物	S	吸入	INH	10mg/2回 1日	07/03/24 07/03/28	インフルエンザ

副作用/有害事象

重要性	副作用/有害事象名 (MedDRA-PT)	副作用/有害事象名 (MedDRA-LLT)	持続期間	発現日	転帰日	投与開始からの 時間間隔	最終投与からの 時間間隔	転帰
非・重	異常行動 (異常行動(泣きさげ、テーブルに登り、 ベッドから落ちる))	異常行動		07/03/26	07/03/28			回

副作用・感染症の発現状況、症状及び処置等の経過

2007/03/23夜
咳こみあり、熱なし。
2007/03/24朝
咳、時折みられるも活気あり。
2007/03/24昼すぎ
咳ひどく、熱発39.5度。
2007/03/24夕
咳かなりひどく、呼吸困難、熱39.5度。インフルエンザA型と診断され、状態悪く入院。点滴などによる解熱剤、内服薬、クーリング開始。リ
レンザ使用。
2007/03/25
点滴、リレンザ、発熱つづく。
2007/03/26
6:00 発熱39.2度あり。顔面紅潮し、頭痛を訴えていたが、元気でしゃべりしていた。発熱の為にクーリングを交換する。その場、少しうと
うとしていたが食事は食べたいという。パンは2枚はいらないと言う。
7:30 リレンザを吸入するように促し、内服もさせる(内服はアムトブロン、アスベリン、アストマトップ、アムトブロン、ビソルボン、トー
ワキサン)。
9:20 体温39.3度。突然病室内で大声を出し、喚きながら、サイドテーブルを持ち上げようとする行動あり。泣き叫び、ベットサイドにあるテ
ーブルに登り、暴れ、ベットから落ちるといった異常行動を起こす。(病室とナーズステーションの間は近く看護婦もすぐに行けるが)医師は回
診中の為、すぐに病室へ行き回診。発汗がひどくすぐにベットに臥すように促し、点滴を開始。10分位で精神状態が安定したらしく表情穏や